

大和大学 F D 研修会 アンケート結果

講演日時：2016年3月24日（木） 10:00～12:00

講演場所：大和大学 講義棟 C101教室

講演演題：ティーチング・ポートフォリオについて

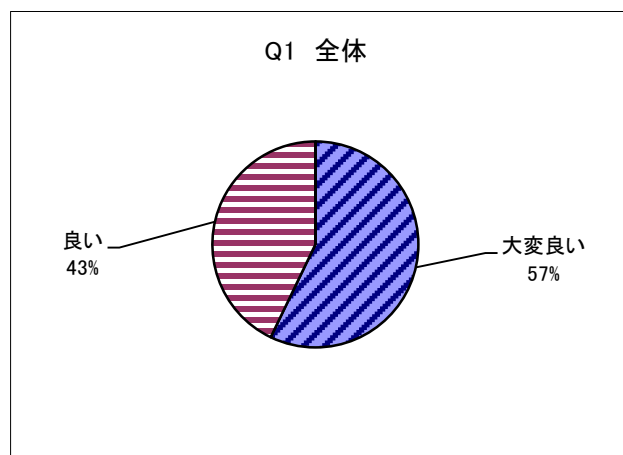
講師：大阪府立大学工業高等専門学校 教授 北野健一

アンケート回収：35通

Q. 1 今回の講演会は全体としていかがでしたか。

①大変良かった 20名(57%) ②良かった 15名(43%)

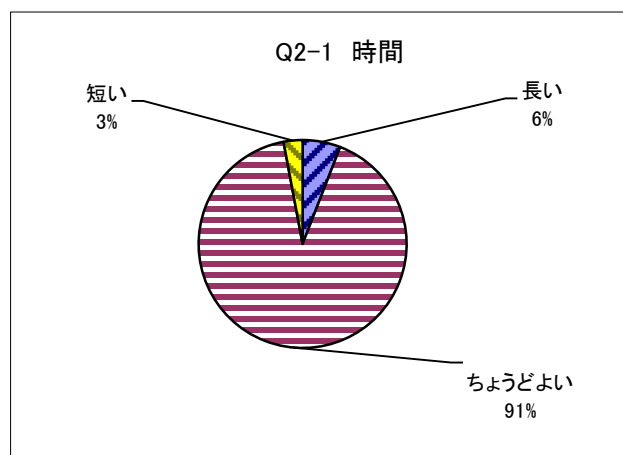
③良くなかった 0名(0%) ④全く良くなかった 0名(0%)



Q. 2 今回の講演ではティーチング・ポートフォリオを理解していただくことが第一の目的でした。この目的を達成するために、

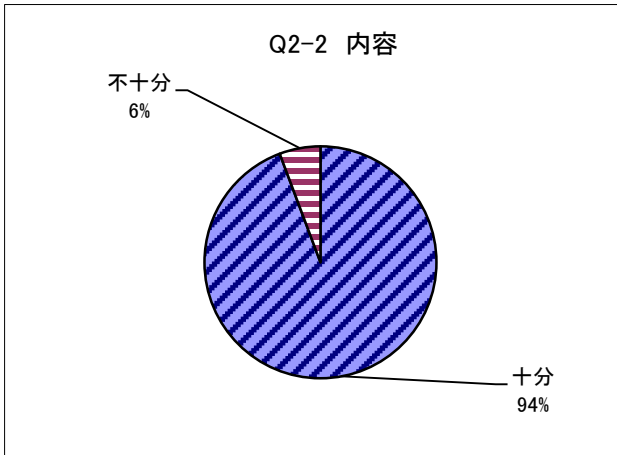
2-1 講演時間はいかがでしたか。

①長い 2名(6%) ②ちょうどよい 31名(91%) ③短い 1名(3%)



2-2 講演内容についてはいかがでしたか。

- ①十分であった 33名(94%) ②不十分であった 2名(6%)

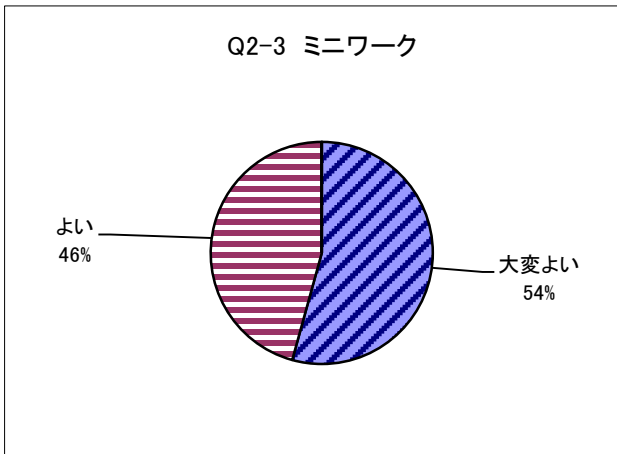


* 不十分であったと感じられた部分についてお聞かせ下さい。

前半は Portfolio そのものの学問的な説明だけでいいと思いました。導入例、WSの案内とかは不要。
 どういった専攻に特に有効なのか知りたい。「抵抗勢力」に対してどう対峙するか。

2-3 ミニ TP ワークはいかがでしたか

- ①大変よかった 19名(54%) ②よかった 16名(46%)
 ③よくなかった 0名(0%) ④全くよくなかった 0名(0%)



* 上記のように答えた理由についてお聞かせ下さい。

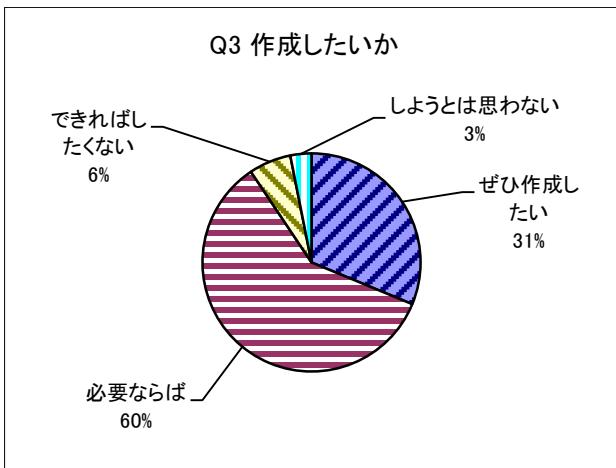
①	書いたものが手元に残る。次へのきっかけになる。
①	おもしろかったです。日常のことが整理できました。
②	ディスカッションは楽しかったです。
①	教育の振り返りができた。他分野の先生の意見を聞いた。
①	未知の人が既知の人のように考え方がわかり参考になった。
②	自己の分析ができたと思います。
①	お互いの考えや生き方etcわかり合える。
①	ペアワークで学ぶものがあった。
②	時間が短かったです。

Q. 3 ティーチング・ポートフォリオを作成したいと思いましたが。

- ①ぜひ作成してみたい 10名(31%)
 ②必要ならば作成してもよい 19名(60%)

- ③できれば作成したくない
- ④作成しようとは思わない

2名(6%)
1名(3%)



Q. 4 ティーチング・ポートフォリオについてどのような印象を持たれましたか。その可能性, 限界, 課題についてなど, ご自由にお書き下さい。

国語教育学の分野では「国語教育個体史研究」が半世紀以上前からあるが、その現代的意義を再発見した。また、自分の教育実践をふりかえる論文執筆にも役立つ。
教員にとって重要かつ必須であると実感しました。
発達障害、適応障害を持つ学生への対応などを討議したい。
ありがとうございます。
本日はありがとうございました。
自分を再確認する機会になります。
研究発表と似ていると思った。
自身を振り返るのに良いと思います。
自己の振り返りが教材活用、授業改善などに生かせる。
有難うございました。とてもわかり易くて、ためになりました!!
短時間バージョンを作ってほしいです。
自分の足りない分が見えてきた。
教員研修に導入する場合のテクニック？
時間があれば作成してみたい。作成日数が長いので、その点が気になった。
自分を見直す機会になって良いと思いました。
相互理解、自己理解によいと思った。
興味深く拝聴いたしました。お話も上手く、わかりやすかったです。ミニワークはコンパクトでしたが、「こういう風にやるのか」と具体的なイメージがつかめ、大いに参考になりました。ありがとうございました。
(A)の投げかけ方で、もっと見えなかったものが見えるようになる気がする。
ありがとうございました。ティーチング・ポートフォリオそのものは、FDとしてとても意味のあるものと思いました。ただ、授業力向上を考えると、この方法では自分自身の壁を越えられないと私は思います。大学の教員が小学校教員のような授業力の
前任校ではこのようなFDをいつも行っていましたが、本校に来てからこのような話し合いの場がなく戸惑っていました。今日はとても有意義な時間になりました。ありがとうございました。
臨床系ではもっと深い研修等が種類多くあるので、メンターやSVは経験したというだけではなれないので、メンターやSV、tutorialの制度が教育と少々違う認識と思った。
自分を深く振り返るという作業は、とても難しく、どのようなしくみで行われるのか大変興味深いです。ぜひワークショップにも参加したいと思いました。ありがとうございました。
PCで作成すると直感的にできないので、いろんな方法があってもいいかなと思いました。

以上